

## 兄弟の葬儀でのあいさつ

一言ご挨拶申し上げます。

私は故人〇〇〇〇の兄でございます。  
本来なれば故人の妻からお礼の言葉を申し上げるべきかと存じますが、ご覧のように悲しみに暮れておりますので、私が代わって親族の代表として謹んでお礼申し上げます。

本日は、皆様方には、お忙しい中にもかかわらず、このように多数ご会葬下さいまして、誠にありがとうございます。  
その上、数々のご丁重な真心あふれるご弔辞をいただきまして、故人もさぞかし深く感銘していることと存じます。

故人は〇〇老人ホームの嘱託医として、患者の健康に人一倍気をつけていながら、自分の体には無頓着のほうで、いや、気がつきながら多忙の為に構わなかったのかもしれない。

しかし、本日、この様に故人を慕って、たくさんの方々がお集まりくださり、また〇〇老人ホームの皆さまからは、涙あふれる暖かいお志をいただき、遺族のひとりとして大変感謝しております。

ただ、故人の死があまりにも急で、家族の心の準備ができておりません。  
しかも、残されましたのは、故人の妻とまだ大学に行っている娘だけでございます。

この席であつかましいお願いでございますが、今後ともこの二人に励ましとご援助のほどを、心からお願い申し上げます。

(締めめの挨拶に入る)

\* 未亡人にかわって故人の兄があいさつする場合は、できるだけ故人の功績をしのんで死を悼むとよいでしょう。